

第三者評価結果の公表事項

①第三者評価機関名

一般社団法人 宮崎県社会福祉士会

②評価調査者研修修了番号

2017-1、2021-01

③施設の情報

名称：愛生園	種別： 障害者支援施設 (生活介護/施設入所)	
代表者氏名： 伊藤 博和	定員（利用人数）60名	
所在地： 宮崎県児湯郡木城町大字椎木字浦畑3950-1		
TEL：0983-32-2829	ホームページ： https://www.hp.fukushi-zenjinkai.jp	
【施設の概要】		
開設年月日： 昭和56年6月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 善仁会		
職員数	常勤職員：52名	非常勤職員： 5名
有資格 職員数	社会福祉士 : 1名	
	介護福祉士 : 20名	
	介護支援専門員 : 1名	
	看護師 : 2名	
	准看護師 : 2名	
	理学療法士 : 2名	
	管理栄養士 : 1名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	65室（全個室）	ベッド、ナースコール設備、洗面設備、 簡易収納設備

④理念・基本方針

法人基本理念

皆様（利用者）のために社会福祉法人は存在する。
地域における福祉推進の拠点としての役割を果たすととともに、法人の総合力を発揮して福祉の増進に努めます。

法人基本方針

- (1) 安定した経営を図り、社会貢献に努めます。
- (2) 利用者の健康と安全を図り、利用者本位のサービスに努めます。
- (3) 利用者の人権と人格を尊重します。

⑤施設の特徴的な取組

- ・年2回内部監査を実施し、サービスの改善を図っている。
- ・法人による正規職員を対象とした階層別研修を実施している。
- ・年1回、顧客満足度の調査や福祉サービスに係る自己評価を行っている。
- ・平成27年度より人事考課制度を実施している。
- ・外国人雇用に積極的に取り組んでいる。
- ・地域貢献及び地域の活性化に積極的に取り組んでいる。
- ・ICT及びペーパーレス化を推奨している。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 6年 8月 7日（契約日）～ 令和 7年 2月 14日（評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和 3年度

⑦総評

◇特に評価の高い点

- （1）重大な事故を未然に防ぐためのヒヤリハット報告例を多く収集するために記録様式の見直しやグループ会議時に都度、職員より報告を求めるなどの改善がなされています。また、パソコン上の掲示板にて速やかに情報共有ができる仕組みがとられ意識の変容が見られます。
- （2）法人として専門職の資格取得希望者をサポートする体制があります。資格取得に必要な実習時間を業務時間として算定したり、試験合格のための問題集を施設負担で購入し、職員の意向に協力する姿勢を表しています。
- （3）通学している西都市、児湯地区の障害児を対象に保護者が家に戻るまでの時間、日中一時支援を実施し、学校と自宅への送迎を実施されています。

◇改善を求められる点

- （1）パンフレットに記載されている障害者支援施設の入所要件が、旧法による要件となっているため、現法（障害者総合支援法）による要件への記載が求められます。また契約書や重要事項説明書、パンフレットなど誰もが見やすく理解しやすいような工夫を期待します。
- （2）ご利用者の希望や意向を尊重した学習支援の一助として、リカレント教育や生涯学習、資格取得などの推奨が求められます。学びの意義や資格取得することの有用性、方法などの情報を提供し、学習意欲を高める工夫を期待します。
- （3）理念、基本方針ともにホームページ、年度事業計画書に記載され、施設内掲示もされています。ご利用者・家族に対し館内の掲示場所や表記内容が視認しやすい形を工夫されることを期待します。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

今回、3年ぶりの第三者評価受審となりましたが、ご利用者との対面での聞き取り、施設での暮らしぶりを時間をかけてみて頂いたことや業務について自分たちでは気づかない点についても、高評価していただき感謝しております。

また、第三者評価の受審にあたり様々な準備が必要でしたが、①自分たちの仕事を振り返ることができる ②第三者に自分たちの業務を根拠を持って伝えるプレゼン力の向上につながる等といった人材育成にもつながると感じる第三者評価の受審となったと思います。

今回、改善が必要になった項目については真摯に受け止め、より良い事業所づくりの参考に努めて参りたいと思います。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。